

# 日本共産党

## 磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp  
 川西町結崎 862-7 0745-43-2415  
 吉田容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
 田原本町大木 113-5 090-5257-4446  
 森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
 田原本町鍵 281-1 0744-33-8570  
 (事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
 三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

# 経産省が新組織

0原発マネー113研0  
 研究者も再稼働後押ししか

経済産業省は、原発の安全性を検証する新たなワーキンググループ(WG)の設置を決め、17日に初会合を開きます。WGのメンバーには、原発マネーを受け取っている研究者が含まれ、電力会社や原発メーカーもオブザーバーとして参加するだけに、その論議のゆくえが注目されます。

### きょう初会合

この新組織は、経産省の総合資源エネルギー調査会のもとに設置される「原子力の自主的安全性向上に関するワーキンググループ」。

5月の訪米時に、原子力規制委員会が安全性を確認した原発の運転再開を進める考えを示した茂木敏充経産相が、「規制委とは別に電力会社を中心となって原発の安全性を検証したり、トラブルの対応策などをまとめた」と表明していたものと見られる。新組織の設立を検討する

### 委員2人、恩恵

経産省によると、座長には製品評価技術基盤機構の安井至理事長が就任、10人の委員が予定されています。

委員のうち、判明しているだけで2人が、原発マネーの“恩恵”を受けています。

規制委で原発の新たな安全基準づくりを担当する検討チームに加わった山口彰、大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻教授は、日本原子力発電(日本原電)や原発メーカーの三菱重工、原発利益共同体の中核組織「日本原子力産業協会」などから報酬や寄付、共同研究費として1300万円以上を受け取っています。

茨城県の原子力安全対策委員会のメンバーでもある関村直人・東大大学院工学系研究科原子力国際専攻教授は、三菱重工や日本核燃料開発などから計294万円の原発マネーがあります。

### 電力会社も参加

オブザーバーに電力会社や原発メーカーも加わって、「安全性の向上」が図れるのか。

安倍政権・自民党は「国が責任を持つて、安全と判断された原発の再稼働については、地元自治体の理解が得られるよう最大限の努力をする」と原発再稼働に前のめりです。新組織が、原発再稼働に向けた地元の同意獲得の後押しをするためのものとなる可能性が濃厚です。

2013年7月17日(水)

政党助成金 9党が79億  
 山分け  
 共産党は受領拒否

参院選投票日(21日)を目前にした

19日、自民党、民主党、日本維新の会、公明党、みんなの党、生活の党、社民党、みどりの風、新党改革の9党が計79億4208万円の政党助成金を山分けしました。

年総額320億円にのぼる政党助成金は国民の税金。選挙戦で政党助成金を湯水のように使って消費税増税や憲法改悪などを押し付け、国民の審判を受ける前に新たに政党助成金を受け取った政党の姿勢が問われます。

政党助成金は、総務省に受け取りを申請した政党に対し年4回に分けて支給されます。9党による政党助成金の山分けは5月に続いて2回目。3、4回の各党の支給額は、参院選結果を受けた所属議員数や得票率をもとに再計算されます。

支持政党にかかわらず国民の税金を各党が山分けする政党助成金は、憲法が

### ■政党助成金の今年2回目の受け取り額

自民党	36億3763万円
民主党	21億3350万円
日本維新の会	6億7894万円
公明党	6億3947万円
みんなの党	4億4737万円
生活の党	2億401万円
民進党	1億3526万円
社会民主党	3469万円
みどりの党	3117万円
新党改革	千円以下切り捨て
日本共産党	政党助成金の廃止を求め、受け取らず

「日本共産党の指導者がアベノミクスに反対」米経済紙が報道

【ピッツバーグ＝島田峰隆】米経済紙

ウォール・ストリート・ジャーナル(電子版)は19日、「日本共産党の指導者がアベノミクスに反対」と題する記事を志位和夫委員長の写真付きで掲載しました。

記事は「1世紀近い歴史を持つ日本共産党は東京都議選での印象的な勝利を力に進んでいる」「今度は安倍首相とその連立政権にブレーキをかけることを狙っている」と指摘しました。

また日本共産党が消費税増税に反対し大企業の内部留保を活用することを提案していることなどを紹介し、「日本共産党は自民党に代わる政党を模索する有権者の支持を得る自信を持っているようだ」としています。

記事は、日本共産党の立場について「志位氏は、共産党は自民党の提案に何でも反対するワンパターンの立場をとる党ではないと強調した。彼は『どんな問題が起きて、われわれはいつも対案を示してきた』と話した」と伝

2013年7月21日(日)

日本共産党発行  
**赤旗**  
 月刊 3,400円  
 日曜版 800円



# 環境整備事業補助金

昨年十一月、やまと広域環境衛生事務組合は、栗阪自治会宛に協力金一億円を支払い、四月二六日には環境整備事業補助金として二億円を支払いました。二億円の使い道は、「各戸に浄化槽設置並びに宅内工事を行い生活排水対策の向上を図るため」となっています。

栗阪地区に下水道は整備されていません。そこで、各戸に合併処理浄化槽を埋設し、洋風便器を設置し壁と床など改造工事をする見積もりが約一九〇万円で、自治会全戸数一〇三軒分合計二億円だそうです。おかしいと思いませんか？各家の形態や建築年度は別々です。

それなのにおんなじ工事です。

平成一三年四月以降建設された家には必ず合併処理浄化槽が使われています。現在使っている浄化槽を掘り出し廃棄する費用は計上されています。

そもそも、栗坂地区には、見た目新しそうな家がたくさんあります。古そうな家は市営住宅ぐらいいでは・・・と思います。しかも、先週地区内を歩いたが、改造工事は一件もされていませんでした。これから？それとも、各戸でお金を分配するための方便？

田原本議会議員  
吉田容工



# ねじれ現象

参議院選挙が終わりまして、日本共産党は11議席（非改選3）へと前進されていたことができました。三宅町では選挙区で405票、比例区では261票とお世話になりました。

自民・公明が参議院議席の過半数を確保し、衆参のねじれ現象は解消されましたが、国民とのねじれは一層厳しいものになりました。子供保育についても下が叫ばれています。

21日の結果が今後3年間（衆議院選挙がなければ）の国民の生活を左右することになります。自民・公明政権が、来年4月消費税を8%に、



# 投票箱の蓋

今年の夏は例年より早く訪れたようで、私にとっても暑い（熱い）夏になりました。

私がこうしてパソコンに向かって今参院選の結果が出ていないので分かりませんが、日本共産党の躍進を祈るばかりです。選挙の投票日は毎回、朝から支援して下さった方々に棄権防止のお電話を入れさせて貰うのですが、夕方になると疲れがたまります。「大抵の方は投票されているし、もういいかな・・・」と思いつつも大阪の同級生に「投票は行った？」と電話をかけてみると「皮膚が太陽にあたるから行っ

てない」とのこと。今回の選挙は憲法改悪、原発再稼働、TPP参加、消費税増税、など等日本

# フル活用

参議院選挙が終わりですが、景気、雇用、TPP、憲法、原発、等々、どの問題でも向かう先、いったいどこへ皆さん連れて行くのかが危惧されます。

争点を衆参のねじれ解消に置く報道が最後まで続きましたが、国民全体の暮らしが厳しくなっている原因がそれに有るなら、解消する事も有りですが、厳然たる事実として安倍政権が進めようとする策が今日とこれから暮らしの厳しさを生んでいるんですから、やはり争点をほかに役割をしっかりと果たしたとしか言いようが有りません。安倍首相の接待を受けている巨大マスコミの情けない姿ですよね。



これからの安倍政権ですが、景気、雇用、TPP、憲法、原発、等々、どの問題でも向かう先、いったいどこへ皆さん連れて行くのかが危惧されます。私どもはこれらのどの問題にもしっかりと対峙し、対案を示して皆さんの審判を受けるべく県内では谷川和宏を先頭に懸命に訴えました。結果、川西町では、選挙区で五〇三票、比例区で三四五〇四五票を、全国では、選挙区で三議席と比例区で五議席の合計八（選挙前は三）議席をいただき、議案提案権を持たせていただきましたので、この力をフルに活かして頑張ります。川西町議会議員 芝 和也

の行方を左右する大切な選挙だから、どうしても投票に行つて欲しいと話すと「わかった、陽も落ちて来たから行くわ」と言ってくれました。また、町内の支持者に電話をかけて「身体が悪いので歩けないから今回はやめようと思ってる」とのこと。では私が車で送迎するからと伝えると「ではお世話になろうかな」と杖をつき、足をひきずりながらも投票場に行つて下さった老夫婦。また、「今から投票に行くけど、候補者の名前が誰だっけ？」と聞いてくる人。選挙って「投票箱の蓋が閉まるまで！」とはこの事なんだな、と実感しました。

田原本議会議員 森 良子